



第38回(2023)

京都賞記念講演会

2023年11月11日(土)13時～ 国立京都国際会館

入場無料

同時通訳

定員 1,500名(先着順)

先端技術部門

Ryuzo Yanagimachi

柳町 隆造

生殖生物学者 ハワイ大学 名誉教授

「哺乳類の受精研究と受精補助技術：私が歩んだ60年の軌跡」



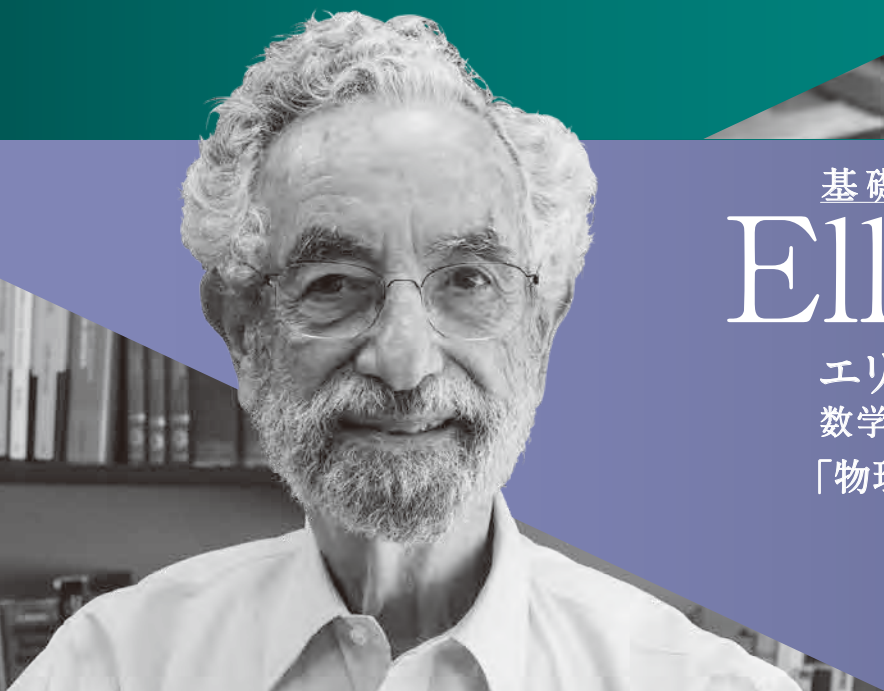
基礎科学部門

Elliott H. Lieb

エリオット・H・リーブ

数学者・物理学者 プリンストン大学 名誉教授

「物理学と数学の世界を歩んだ人生」



思想・芸術部門

Nalini Malani

ナリニ・マラニ

美術家

「私には私のリアリティがある」



科学や技術、思想・芸術の分野に大きく貢献した方々に贈られる「京都賞」。
本講演では、京都賞受賞者に業績や研究内容などをエピソードも交えながら語っていただきます。
受賞者の人生観や人柄にも触れられる貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。

先端技術部門

バイオテクノロジー及び
メディカルテクノロジー

柳町 隆造

生殖生物学者 ハワイ大学 名誉教授

哺乳類の受精研究と受精補助技術：私が歩んだ60年の軌跡



私が生まれ育ったのは北海道で、そこでの暮らしから自然が大好きになりました。はじめ私は土木工学を学んだのですが、自然の美しさと秘密をもっと知りたいという自らの情熱に従い、基礎科学の道に進むべく北海道大学理学部に入り直しました。大学ではウニの受精過程に魅了されました。魚の受精や寄生性フジツボ類の生活環を研究しているうちに、哺乳類の受精についてはほとんど知られていないことに気がきました。そして幸いなことに、「哺乳類の体外受精の父」こと、米国のM・C・チャン博士のポスドクとして研究することができました。ハワイ大学に移ってからは、私の研究の大半は哺乳類の受精と関連テーマを扱うものでした。その中で得られた私の基礎研究の成果、例えば精子を卵子に直接注入する顕微授精などは、精子と卵子の隠された能力を解明し、さらには人間の不妊に関するいくつかの問題を克服することに寄与できたと思います。

基礎科学部門

数理科学
(純粋数学を含む)

エリオット・H・リープ

数学者・物理学者 プリンストン大学 名誉教授

物理学と数学の世界を歩んだ人生



最初はエンジニアを志す者として、次に物理学者として、そして後には数学者・数理論理学者として、私が科学の世界で歩んできた70年にわたる旅について簡単にお話したいと思います。私はさまざまな研究分野での同僚たちとの数々の出会いを通じて、物理学の理解を深めるのに数学や数学的な視点が極めて重要であることを学びました。研究を始めた頃は、このような数学と物理学の根底的なつながりが必ずしも受け入れられていたわけではなく、一部の数学者や物理学者から激しく否定されることさえありました。ここでは理論物理学、そして純粋数学にとつての数理論理学の価値を知っていただくために、私の研究をいくつか紹介したいと思います。一つは1957年に京都で山崎和夫氏と一緒に発見したボーラロンのエネルギーの下限です。もう一つは「氷の問題」です。私は、隣り合うマスに同じ色が来ないようにしてチェス盤を3色だけで塗り分ける方法が何通りあるかを計算したのです。

思想・芸術部門

美術
(絵画・彫刻・工芸・建築・写真・デザイン等)

ナリニ・マラン

美術家

私には私のリアリティがある



私はアーティストとして、自分の人生は社会や人類の進歩に貢献するものであれと信じてきました。21世紀における私たちの未来は、稲盛和夫氏が思い描いたように、科学の発展と人類の精神的深化のバランスだけでなく、精神的深化の再検討をこそ必要としています。中でも、その女性的な面を認識することにより、今まさに必要とされている新しい哲学的パラダイムが明らかになるでしょう。ギリシア神話に登場するカッサンドラは、真実を予見することができたにもかかわらず、決して誰からも信じてもらえませんでした。ここに象徴される人間の精神の女性的な面は、私たちの目を開き、そこに見える未来が抑圧されることさえなければ、人は生きる意味を理解し、新しい文明的価値を構築しながら、その意味をより人道にかなうものへと導くことができるでしょう。

*講演タイトルは変更になる場合がございます。

各講演後には、ナビゲーターの住吉氏が

私たちの目線に立って、講演内容や

人生観などについて受賞者に問いかけます。



ナビゲーター
住吉 美紀
(元NHKアナウンサー／フリー)

第38回(2023)京都賞記念講演会

2023年11月11日(土)13時～ 国立京都国際会館 京都市左京区室ヶ池
地下鉄烏丸線「国際会館駅」から徒歩5分

入場無料

同時通訳

定員 1,500名(先着順)

参加申し込みの方法および詳細はQRコード／URLよりお願いします。
<https://www.kyotoprize.org/>



お問い合わせ

株式会社コングレ内 京都賞運営事務局
Tel 050-1736-6280 (受付時間 平日 10:00～17:00) E-mail kyoto-prize-events@congre.co.jp

主催

公益財団法人 稲盛財団

後援

京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、大学コンソーシアム京都、
京都新聞、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、
時事通信社、NHK、KBS京都、エフエム京都

本講演は新型コロナウイルス感染症対策を講じ、ご参加の皆さまおよび関係者の安全を確保することに努めてまいります。